



kyoto Seel 通信

Seikatsu Eisei eigyou Leader

シール



発行所

財団法人京都府生活衛生営業指導センター

〒606-8221 京都市左京区田中西樋ノ口町 90

TEL (075) 722-2051 ・ FAX (075) 711-6123

ホームページ <http://www.kyoto-seel.com>Email post@kyoto-seel.com

発行人：山岡景一郎



平成24年度 クリーニング師研修報告

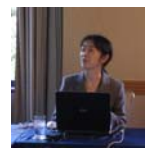


平成 25 年 2 月 17 日（日）京都市上京区・京都平安ホテルにて第 1 型クリーニング師研修を開催し、121 名のクリーニング師が受講されました。『衛生法規及び公衆衛生』の科目では、元京都府宇治保健所衛生課長・塩見修講師より、クリーニング業に必要なコンプライアンスの徹底と感染症予防対策を中心に解説をいただきました。『洗濯物の受取、保管及び引渡し・洗濯物の処理・繊維及び繊維製品』の科目では、繊維製品品質管理士である西山誠講師より、クリーニング業を取り巻く社会的背景を踏まえ、現行で問題となっている衣料事例や今後注意しておくべき動向を盛り込んだ解説と、衣料の専門家として求められる商品解釈の知識について説明をいただきました。休憩時間中も講師を交え、消費者への商品説明の仕方や適切な処理方法の情報交換などをされる様子が見受けられ、意義のある研修会となりました。

また、今年度は、上記会場研修をやむを得ない事情により受講できない方を対象に、通信制にて学習をおこなう第 2 型クリーニング師研修を開催し、65 名の方が受講されました。近年、消費者のライフスタイルの変化により、営業内容等を見直すクリーニング店が増えつつある中で、自宅で学習できる同研修へのお問い合わせを多数いただき、受講後も感想を寄せていただくなど、研修制度自体の関心の高さを知る機会となりました。

[3月7日]平成24年度事務局連絡会議を開催しました。

理事長挨拶の後、京都府健康福祉部生活衛生課食品衛生担当主任 宮野前亜希氏より「ノロウィルス等による食中毒とその予防」、健康福祉部生活衛生課生活営業担当主事 稲垣理紗氏より「生衛組合振興計画等の連絡事項について」、をそれぞれお話をいただきました。



[3月15日]平成24年度第3回指導センター理事会を開催しました。

本理事会にて平成 25 年度の予算についての承認をいただきました。4 月 1 日から公益財団法人になることによる各種変更事項にもご了承いただき、無事閉会いたしました。



法律の改正により
平成26年1月から

個人で事業や不動産貸付等を行う全ての方は

記帳と帳簿等の保存が必要になります!! 記帳・帳簿等の保存制度

※ 対象となる方は、事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方です。

現行の記帳・帳簿等の保存制度の対象の方は、白色申告の方のうち前々年分あるいは前年分の事業所得等の金額の合計額が 300 万円を超える方です。

※ 所得税の申告の必要がない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。





当指導センターの時々の出来事を振り返って（その4）



O-157テスト講習会

最近「ノロウイルス」が主な原因とする感染性胃腸炎が流行している。感染を防止するための対策については、各関係先の広報を参考に、入り口でシャットダウンしてもらいたい。

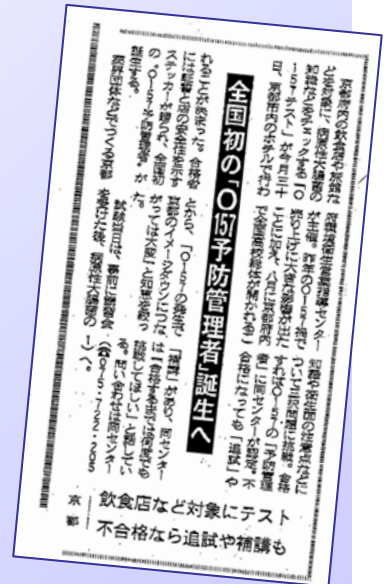
今から17年前の平成8年（1996）に、腸管出血性大腸菌（O-157 オーチゴナナ）の感染者が10,322人も発生し8人が死亡した。その後、平成14年（2002）に9人もの死者が出るに至った。「O-157」とはO抗原として、157番目に発見されたもの。

当指導センターでは、早速、O-157感染予防対策に乗り出し、当時の環境衛生営業者を招集し、＜「O-157」テスト講習会＞を実施した。実施日は、平成9年（1997）7月30日（水）場所はルビノ京都堀川とした。受講料も組合員1000円、非組合員2000円とし、参加定員は250名としたが、応募者多数ですぐ満席になった。講師は、山岡景一郎講習会実行委員長をはじめ、京都府生活衛生課の北島啓次氏、京都市生活衛生課の森田正和氏、KBSの田淵岩夫氏が当たり、その後テストを実施した。

問題は、①もともと海に生息し、魚介類について来る食中毒菌は次のうちどれか？ A サルモネラ B 腸炎ビブリオ C ブドウ球菌 ② 腸管出血性大腸菌O-157に熱を加えたとき死ぬのはどれか？

A 55℃で1時間以上 B 65℃で10分以上 C 75℃で1分以上など、10問が出され、合格者を「O-157 予防管理者」に認定し、合格証書と証票を渡し、不合格者には何度も追試を行った。

この講習会は、日本全国でも珍しく、いち早くO-157の感染予防対策に乗り出したとして、多くのマスコミに取り上げられ、指導センターの名が高められたことは嬉しいことであった。



J 指導員のヒトリゴト

実家にて古い書類を片づけていると、学生時代のテスト用紙がでてきました。処分しようとしたところ裏側に書き込みが・・・『これが最後の出題です。→ 四半世紀後、あなたが大切にしている宝を、ぜひ私に見せてください。』・・・ある学年最後の授業での出来事を思い出し、そしてその四半世紀後はまさに今年。これも何かの縁、友人をつてに連絡先を調べ、出題にある“宝”を郵送しました。後日、出題者よりお電話がありました。「いま、書斎の机が君の“宝”であふれかえている！大いに感嘆、深く、高く感動している。」

私の『大切にしている宝』、その答えは、いま、読んでくださっている『SeeL通信』。みなさまとセンターをつなぐ同広報紙には、情報の大きさに関係なく、常に多くの人に関わり、安心・安全な生活を生活衛生営業店と共につくるため、惜しめない知恵と技術と経験が積み重ねられています。私にとって SeeL 通信は、人そのものであり、活かす宝です。

さて、出題者は先生として、この答えに点数をつけてくれました。その点数、プライスレス。私はこれを10年以上にわたり、この SeeL 通信の編集人をはじめ、常に SeeL の“センター”としてリードしてくれた経営指導員・山岡真弓氏に感謝を込めて贈ります。

SeeL 通信は、HP にバックナンバーを掲載しています。みなさまには、共に積み重ねた歴史を辿っていただき、そして引き続き、共に歩いていただければ幸いです。

せいえい融資利率

（平成25年3月13日現在）

基準となる利率	1.95%（6年まで）
生活衛生改善資金貸付	1.65%（10年まで）
振興事業設備の特定設備	C1.05%（6年まで） （計画書作成0.9%）

私事ではありますが、指導センターを3月末で退職させていただくこととなりました。十年という月日を大過なく過ごさせていただきましたのは、ひとえに皆様のご指導とご協力の賜物と深く感謝しております。SeeL通信は今後、松宮に引き継がれ続けてまいりますので、今後ともご愛顧のほど、宜しくお願いします。

眞